

ハツ場ダム視察研修実施



昨年10月28日（日）、第4地区コミュニティにおいてハツ場ダムの視察を行いました。小雨の降る中、総勢31名の参加で研修を行いました。

今回のハツ場ダム研修は、令和元年の台風19号の経験を思い出しながら「その時あなたはどうしましたか？」をテーマに計画をしました。

あの当時は、利根川が増水し「越水」の危険が高まり、深夜には「避難指示」が出される状況となりました。最寄りの避難所へ向かう道も大渋滞となり、多くの方が途中で引き返すなど混乱したと後で知りました。この時、利根川上流部では「300ミリ」を超える大雨となっていました。その頃のハツ場ダムは試験的に貯水を始めたばかりでしたが、その時に行った緊急措置が功を奏し、また「渡良瀬遊水池」が最大の機能を発揮したことで、私達は危機を乗り越えられたと考えられます。

実際のハツ場ダムでの視察は、ツアーガイドさんの詳しい説明を受けながらダムの機能や放水の様子を見ることができ有意義な時間になりました。

最後に、改めて日頃の準備や、地域でのコミュニケーションの大切さを再確認した一日でした。



（防災部 菊田）

祈りをつないで三百年・・・秋祭りで神楽奉納

古河神楽保存会

11月23日(勤労感謝の日)、中田の鶴峯八幡宮の秋季例祭(新嘗祭)において「永代太々神楽(えいたいだいだいかぐら)」を奉納しました。

全十二座からなり、4時間超に及ぶこの神楽は、春(4月)と秋の例祭に奉納され、春は豊穰を願い、秋は豊穰に感謝して舞います。また社会や地域の安寧(あんねい)を祈りつつ舞うものでもあります。

日本神話の神々に扮した様々な、そして華麗な装束(しょうぞく)や面を身にまとい、鼓・太鼓・笛の音に合わせて厳かに、優雅に、ときに勇ましく舞い踊ります。舞の最後には盛大に餅やお菓子をまいて、今年も奉納を終えることができました。



享保10年(1725年)に始まり昨年ちょうど三百年目を迎えたこの神楽は、**茨城県民俗無形文化財**、また**古河市民俗無形文化財第1号**に指定されております。

先人達によって守り続けられたこの伝統を、地域の貴重な文化的財産としてこれからも守り伝えていきたいと、保存会一同、研鑽に励んでおります。

みなさまの中から、この伝統の維持継承に参加したい、と思う方が現れることを期待します。

(古河神楽保存会 岩石)



「コグニサイズ」知っていますか？

第4地区コミュニティ健康福祉部

8月17日、古河市 高齢介護課 地域ケア推進係による出前講座「高齢者いきいき健康教室」を実施しました。

今回は、認知症になる一步前の段階「軽度認知障害(MCI)」の時期に有効とされる「コグニサイズ」。

脳と体を同時に鍛える、ゲームの要素を含む運動です。



講座の後半は「やってみよう コグニサイズ！」講師の指導で全員で行いました。

- Step1** 全員で声を合わせて数を数えながら3の倍数のときに手を叩く。
- Step2** 足を左右にステップ。
- Step3** Step1とStep2を同時に行う。

などなど、面白く、楽しく学びました。

(健康福祉部会 平河内)



子供会の活動

四子連（四小学区子ども会育成連合会）

四子連では、子どもたちが楽しい時間を一緒に過ごし、お互いの交流を深めることを目的として、一年間を通してさまざまなイベントを開催しています。

今年度は、春のいちご狩りで美味しいいちごを友だちや家族と一緒に味わう体験ができました。



12月には「古河市提灯竿もみ祭り」のパレードに参加し、冬の寒さにも負けず元気にコースを練り歩きました。

パレードのあとは勇壮な竿もみを見て楽しむ素晴らしい体験となりました。

保護者のみなさまのご理解とご協力のおかげで、今年も活動することができ、感謝しております。

今後も四子連は子どもたちに楽しい経験や体験を提供できるよう活動してまいります。

（四小学区子ども会 学区長 今井）



ドッジボール秋季大会で低学年の部が優勝！

9月13日、イーエスはなもも体育館にて「ドッジボール秋季大会」が開催されました。四小学区からは、低学年の部で10名、高学年の部で2名の児童が参加しました。

当日は、保護者のみなさまの熱い声援を受けながら、子どもたちは白熱した試合を展開しました。

練習の成果を存分に発揮し、低学年の部は決勝リーグへ進出、見事全勝で優勝を果たしました。



投げる・受ける・よける、と全力で競技に取り組む子どもたちの真剣な表情や、勝利をつかんだ瞬間の笑顔は、会場にいた保護者の皆さまに大きな感動と喜びを届けてくれたことでしょう。

来年も優勝を目指して頑張りますので、たくさんの子どもたちの参加と、保護者の皆さまの温かいご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

（四小学区子ども会 協力委員 柿澤）





古河市立古河第四小学校

学校教育目標

姿勢を正しく

自ら学び 健康で 心豊かな子の育成

キャッチフレーズ

「明るく 楽しい きれいな学校」

共通実践「笑顔」「元気にあいさつ」

合同避難訓練 & 交通安全（歩き方）教室

令和7年10月14日（火）、古河第四小学校において「合同避難訓練と交通安全（歩き方）教室 ～地域とともに歩む避難訓練～」を実施しました。今回の訓練は、大規模な地震の発生を想定し、その中で、学校に来校していた第4地区コミュニティの方々（第4地区コミュニティ）が傷病者を搬送する設定でした。児童の安全確保と、学校と地域（第4地区コミュニティ）の連携強化を目的として行われました。

―地域コミュニティによる負傷者搬送―

今回の訓練の大きな特徴は、地域の方々（第4地区コミュニティ）が直接、負傷した児童の救護にあたる流れが組み込まれている点です。教職員が避難誘導に専念する中、来校していた第4地区コミュニティの方々（第4地区コミュニティ）は、担架を使いながら負傷した児童を迅速かつ丁寧に校庭まで搬送しました。



その後、「正しい集団登校（下校）の歩き方教室」を、引き続き第4地区コミュニティの方々（第4地区コミュニティ）の指導・協力のもと、行いました。

今回の訓練を通じて、学校と地域（第4地区コミュニティ）が顔の見える関係を築き、「いざという時に助け合える体制」を確認できたことは、地域力を高める大きな一歩となりました。

